

コロナに負けず卒業生315名巣立つ

三月一日、第七十二回卒業証書授与式が行われました。新型コロナウイルス感染症予防のため在校生は教室からリモートでの参観となりました。今年も唱歌「仰げば尊し」「蛍の光」は省略され、校歌も音源のみとなりました。校長先生による温かい言葉が贈られ、前生徒会長から「一年生の時は先輩の背中を追う日々、二年生では倉商生として一層の自覚と進化を求めた。何度も挫けそうになったが、所属する野球部では初の中国大会優勝、明治神宮大会出場と選抜高校野球で叶った甲子園出場。創意工夫で実施できた倉商祭、あの笑顔と絆は忘れられない。地域の方々、在校生・先生方、そしていつも変わらぬ愛の温もりで見守ってくれた両親。素直になれなかったが、多くの愛情は決して忘れない。『ありがとう』の言葉を素直に伝えたい。」と答辞が述べられました。在校生代表として生徒会副会長からは「コロナ禍で中止となった岡山商業との定期戦、創意工夫のもと規模を縮小して実施できた倉商祭、そんな不透明な今年に挑戦し自分の道を見極めようとする先輩の姿は、夢の実現のために努力を惜しまない尊さや厳しさを示していただいた。次のそれぞれの舞台にて先輩方の輝く姿を楽しみにしたい。」と送辞が述べられました。卒業生は、各クラス最後のホームルームで「卒業証書」を受け取り高校生活に幕を閉じました。一部倉商ブログより引用



新入生にサクラサク

三月十七日に高校入試（特別推薦と一般合わせて）の合格発表が行われました。今年もコロナ対策で、校内掲示発表とWEB発表の二種類の方法で行われました。発表形態を分散したので学校へ訪れた方は随分減少しましたが、実際にこの目で確認しようと、発表の九時前には結構大勢の方々が掲示板前に集まりました。『サクラサク』の電報はひと昔前の連絡方法ですが、早速スマホ等から家族の皆さんへ連絡される姿が多く見受けられました。今年も例年より競争倍率が高かったため、喜びの声が多く上がっていました。新しい倉商の仲間として共に学校に通えることを在校生一同楽しみにしています。一部倉商ブログより引用



三月十九日に三学期終業式が行われました。一年生は体育館、二年生は教室からリモートで参加となりました。コロナ禍で全校そろっての集会は体育館で開かれることなく終わりました。横にいる部長は、今のクラスが終わることよりもクラス替えへの不安を抱きつつ、新たな出会いに期待も抱いているそうです。